

関東大震災 90 周年記念行事実行委員会 第5回学習会のお知らせ

日時：2013年6月15日（土） 15:00～18:00

場所：専修大学神田校舎 2号館 2階 204教室

(地下鉄神保町駅下車、A2出口より徒歩5分)

講師：裴始美氏

(立命館大学コリア研究センター専任研究員)

「関東大震災時の朝鮮人留学生の動向」

講師より：震災前年の1922年に東京に3,000人近くいた朝鮮人留学生は、震災後に約500人に減り、震災前の規模に戻るのに3年かかりました。打撃はそれくらい大きかったです。また、留学生たちは犠牲者の調査にも関わりました。

今回の学習会では、関東大震災を直接経験した留学生自身の認識・対応を、朝鮮内の動向や朝鮮総督府の対策とともに考えます。当時の朝鮮・朝鮮人にとっての関東大震災の意味を考える材料になればと思います。

講師：藤田廣登氏

(労働者教育協会理事)

「亀戸事件と多喜二」

講師より：小林多喜二が関東大震災と向き合うきっかけとなったのは、小樽高商秋季恒例の「外国語劇大会」が「関東震災義損」として開催され、後輩の伊藤整とともに「青い鳥」に出演したことに端を発します。その年の12月、亀戸事件の犠牲者の一人・平澤計七追悼会にメッセージを送りました。その多喜二が1930年上京直後に亀戸地域を訪ねていることが最近判明、その目的は?亀戸事件をキーワードに、多喜二の社会認識の成長・発展過程を考察してみたいと思います。

※どなたでも参加できます。 資料代：500円



主催：

関東大震災 90 周年記念行事実行委員会

お問い合わせ：

kantou90@gmail.com

080-9414-0901 (田中)

郵便振替口座：

00100-9-608491

関東大震災記念行事実行委員会

会費：個人1口千円、団体1口5千円

(2口以上の納入をお願いしています)

※関東大震災 90 周年記念行事実行委員会入会のご案内

本会は、90周年を契機として、関東大震災震災時の虐殺の背景や実態、歴史的な位置づけについて学び、この問題の真の解決を広い世代の共通な課題として考える機会を持つために作られました。そのための記念集会や学習会などを開催していく予定です。70周年・80周年記念集会の参加者や、各地域の追悼・調査を続けてきた市民により運営されています。ぜひ、会員となって会を支えてください。